

市史の小徑

第六卷「民俗・建築・石造文化財」いよいよ刊行

12月2日から『甲賀市史』全八巻のうち第2回配本となる第六巻「民俗・建築・石造文化財」を市内各施設・書店等で販売します。

分野編の1冊となるこの巻では、豊かな年中行事や祭り、伝統的ななりわいの伝承。卓越した技によって建てられ、先人達が守り伝えてきた神社や寺院の建築。そして寺社や路傍みちばたにあつて、風雪に耐えながら人々の暮らしを見守ってきた石造文化財など、私たちが身近な文化財を詳しく紹介しています。

取り上げた資料はそれぞれ異なる土地で守り伝えられてきたものですが、1巻を通じてご覧いただくのと、旧町ごとでは見えなかつた広域での文化のあり様があがえるものとなりました。好評販売中の既刊第一巻「古代の甲

賀」とあわせて、ぜひお手元にお備えください。

【体裁】

B5判・本文約600ページ・カラー口絵16ページ・上製本・写真図表多数。

【販売価格】

1冊 3,500円



【市史販売所】

〈水口〉TSUTAYAさんぽうどう・ハタヤ書店・山川書店・山田書店・水口歴史民俗資料館
〈土山〉ウエフ・新名神土山サービスエリア案内所・道の駅あいの土山・土山歴史民俗資料館
〈甲賀〉かふか生涯学習館(WING甲南店)市史編さん室(信楽) 大宝堂谷川書店・信楽中央公民館

問い合わせ

歴史文化財課

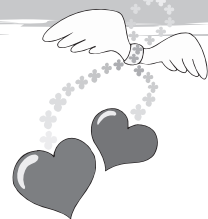
甲南庁舎3階

市史編さん室

☎ 086-80075
☎ 086-80216

みんなの窓

自分が伝えたいことを相手に伝えるために



皆さんは、自分が伝えたいことをどのように相手に伝えていきますか。また、どんなときに伝えることの難しさを感じていますか。例えば…

あなたはクタクタに疲れて家に帰ってきました。そしてドアを開けたとたんに目に入ってきたのは、散らかり放題の家の中。さて、こんなときあなたならどうしますか？

- 「どうしてこんなに散らかすの！」と家族を怒鳴りつける。
- あきらめてため息をつき、一人で片付ける。
- 不機嫌そうな顔をして片付けた後で、冷たい夕食を出し、家族に「悪いことしたなあ」と思わせるように仕向ける。

攻撃的に相手を責め立てても、我慢してあきらめても、遠回しに相手に仕返しをしても、あなたが本当に伝えたかったことが伝わったとは限りません。また、自分と相手の関係にプラスになるやりとりともいえません。

- 「私、疲れているから、片付けを手伝ってほしいの。」

このように素直に言えば、相手を傷つけることなく、伝えたいメッセージが伝わることでしょう。このような、自分の気持ちや要求を、相手の権利を尊重しながら率直に、

誠実に、対等に伝えるコミュニケーションの方法を「アサーティブネス」といいます。

アサーティブネスの考えは、1960年代からの人権擁護運動や女性解放の思想を土台として発展してきました。ですから、人権思想とは密接な関係にあり、「私には権利がある。それと同じように、あなたにも権利がある」という権利意識が基本にあります。

その権利は自分だけではなく、自分の子どもにもパートナーにもあるし、自分の苦手な人や嫌いな人にも、同じようにあるのです。相手にも、自分と同様に間違える権利があり、「YES」「NO」を自分で決めて言う権利があるということをしっかり押さえておけば、相手とぶつかったときにただ非難することにはならないでしょう。

「自分には権利があり、相手にも同じ権利がある」というところに立った上で、何をどう伝えようかということを考える。コミュニケーションはそこから始まるのではないのでしょうか。

参考:「アサーティブネスへようこそ」
(特定非営利活動法人アサーティブジャパン発行)

問い合わせ 人権推進課 ☎ 65-0693 ☎ 63-4582